

ニッポン不滅の名城「戦国のヒーロー真田の城」を視聴して

成澤文和（4組）

私を含めて真田ファンにとっては、NHKBSプレミアムで2月5日放送された番組はタイトルからしても大変興味のわく番組であった。

<https://www6.nhk.or.jp/nhkpr/post/original.html?i=27625>

1時間の番組は大別して三部構成になっており、日本の戦国史研究家の第一人者である小和田哲男氏（静岡大名誉教授）、また歴史学者で特に武田氏の歴史に関して詳しく、大河ドラマ「真田丸」の時代考証を務めた一人でもある平山優氏（前山梨大非常勤講師）、さらに日本の城郭考古学者であり、「真田丸」の城郭考証を務めた千田嘉博氏（奈良大教授）の三名が登場したことも驚きであった。

第一部の上田城については第一次、第二次上田合戦はいずれも徳川の大軍を撃退したが、番組では少人数での戦術を駆使して、周囲の出城も上手く使い、（母校も藩主館として登場）更に二度の合戦共城の東側からしか攻撃できないようにしたことが、徳川軍を混乱に追いこんだと千田教授は述べていた。

これにより上田城（真田氏）は一躍有名（不落城）となった。

第二部では小和田教授が登場して、真田の里（周囲には松尾本城等八つの山城で囲まれていた）での山城と真田一族の関係について述べていた。

真田幸隆は村上・諏訪などの連合軍により攻略され上州に逃げ延びたが、後に信玄の被官となり、信玄がどうしても落城できなかった砥石城を調略してから村上氏は衰退の一途を辿ることとなった。

これにより真田氏も上田進出の足掛かりが出来た。

更に砥石城調略の12年後には沼田城、名胡桃城（小田原の役の発端となった）と上田城を繋ぐルート上の重要拠点であった岩櫃城を攻略、また岩櫃城周辺で修験者（山伏）を忍（しのび）として取り込み多様な人材を味方にして情報収集に努めた。昌幸の時代1582年、岩櫃城に武田勝頼を迎え入れて武田家の巻き返しを図るも、親戚衆の裏切りにより武田家は滅亡し、さらに同年6月には本能寺の変にて信長の死によって、空白地帯となった旧武田の領地争い「天正・壬午の乱」にと続くが、信之の時代1614年、岩櫃城は破却された。

第三部では松代城を取り上げており、千田教授が城内を案内していたが、平成になり城の改修もかなり進んだとのこと。

松代城は別名海津城と言われ、第4回目の川中島の戦い（5回の内の最大の激戦）では武田軍の前線基地となった。

甲州流の丸馬出と三日月堀が良好に残っているが、平山氏によると甲府の武田氏館にも同様のものが残っているとか。

1622年信之は上田から松代へ加増の上（北信濃4郡）移封となったが、甲州流の築城術を受け継いだ松代城を本拠と定めた。

幕府も二代将軍秀忠までは昌幸・幸村憎しであったが、四代家綱の時代になると武田の戦術をよく知る信之が貴重な存在になったことも明治維新まで存続した一因となった。

私も所属する歴史好きな同期の集まりである「蕨の会」としても今秋には、真田町～松代町～上田を訪れる予定であり、コロナ禍が収まり実現出来ればと思っている。

なお、過去に「蕨の会」で実施した真田関係史跡巡りについては①17年5月、真田丸一泊ツアー（大坂城、高野山、九度山他）幹事成澤、ガイド山岸（11組）参加者8名 ②18年4月、群馬沼田真田氏巡り（沼田城、名胡桃城は遠望他）幹事中山（11組）参加者11名 ③19年4月、仙台真田氏巡り（白石～作並温泉泊り～仙台市内）幹事宮原（9組）、浅倉（4組）参加者15名。

以上